

大阪市立我孫子中学校

1年生学年通信

8月



仁



— JIN —

令和3年8月6日発行 No.11

<1年生平和学習>

7月10日の土曜授業では、1時間目にDVD『火の海 大阪』を鑑賞し、自分たちの住んでいる場所で実際に起きた戦争について考える平和学習を行いました。

以下、みなさんの感想です。(一部抜粋)

【1組】

☆戦争をすることによって被害を受けた人々は悲しむし、心に傷が残ってしまう。それは一生忘れられないいやな思い出になってしまう。加害した側は何も心に残らないと思うけど被害側は一生忘れられなくなってしまふ。

☆なんで戦争は人を殺すのだろう人を殺して戦う以外にもあったんじゃないかなと思った。戦争は命と人生を奪う。そんなことをさせる戦争をもう二度としたくないと思う。いま私たちにできることは、“今”を大切に楽しく生きること。過去は過去の出来事として頭に入れ、自分の生き方で生きる。多分その方が、天国の人たちも喜ぶと思う。動画でも悲しさが残るのに動画にいる主人公は悲しいし苦しいはずなのに、前を向いて“今”をしっかりと生きていて、カッコイイと思った。

☆戦争の学習をして、こんな風に平和に笑って過ごせている毎日が当たり前じゃないんだとこれから思っ暮らしたい。被害にあった人々も亡くなりたくて亡くなった訳じゃないし、こんな簡単に尊い命が亡くなってしまうのがとても悲しい。私たちにできることは、今を大空襲にあって死んでしまった方々の分まで生きること。命を粗末にしたり、命を粗末にするような言葉を簡単に言うべきじゃないと思います。

☆大空襲が大阪でもあったことを初めて知って、大変だったんだと思います。もし自分が戦争のときに生まれていたらと考えると怖くてびっくりというか、悲しいと言うか、何とも言えないです。このまま戦争が起らないこと願うし、戦争を起こさないように工夫していこうと思う。

☆今、私たちの住んでいるところでこのようなことがあったことに、大変驚かされた。B29が100機以上で人を殺しに来る大空襲。計8回の大空襲で死者は12983人。とてもゾッとする。第6回の大空襲では、住吉区も大空襲がやってきた。この1回の大空襲で1394人も死者が出ている。なんで、戦争に一切関係のない人が殺されないといけないのか。戦争のせいで手や足を失い、一生、不自由な生活を送った人もいる。こんなことに一生ならないために、身近なところから平和にしていきたい。遊ぶこと、友達と楽しく話すことなど、身近なところから平和にしていけることが平和への第一歩となり、今できる一番大事なことだと私は考える。



【2組】

☆戦争は、人々をきず付けるだけで、何も良い事がないから二度としてはいけない事だと思った。戦争じゃなく、小さなけんかも起きないように、人を思いやる気持ちが大切だと思った。私たちが今できることは、「戦争をしてはいけない」と言う事を身近な人々に伝えることだと思う。

☆戦争は色々な人を悲しませ、苦しませる。それが80年前におこっていたと思うととてもおそろしい。それを知ることがまず自分たちにできることだと思う。

今、戦争が起きていないからいいんじゃないくて、それを自分たちが次の世代につないでいかないといけないと思う。みんながそれを知ってなくちゃいけないし、知らないで平和にはならない。1人1人が戦争を知ることで平和に1歩近づけるんじゃないかと思った。

☆戦争をすると、多くの人が無くなったり大切な人を失うことがあって、多くの人が悲しい思いをすることがあるから、二度と戦争をしてほしくない。

戦争は、破滅だから、二度と戦争をしないように、全世界の人が協力し、平和な世界を作っていきたい。

☆戦争というものは、自分の大切な人たちの命をうばってしまうもの。ぼくがそんなめにあってしまったら、たえられなくて、生きていられなくなってしまうと思います。だからぼくは、戦争を二度と繰り返さないよう、少しでも戦争のことについて知り次の世代の人々に戦争のおそろしさを伝えていきたいです。

☆私たちの次の世代、その次の世代にずっと私たちが前の世代に教えてもらった戦争の怖さを伝えていけたらいいと思う。そして人間が戦争という大きなまちがいをまた起こさないように努力すればよいと思う。「戦争」は経験したことないが、経験したくない事だ。

☆つみのない人たちがころされて多くの被災者も出た。もうこれでこれ以上戦争で死人をださないために自分にできることは戦争を体験した人たちが今ものすごく少ないしへっているからわかい人たちが戦争を忘れないようにすること。

【3組】

☆私は空襲で人が焼けている所や、人が亡くなってしまう所がとても印象に残りました。戦争は人々を悲しませたり、苦しめたりするので、無意味な争いなんじゃないかなと思いました。戦争をなくすには、みんなが協力することが大切だと思います。

☆小さい子など、色々な人が空襲によって命をうばわれていた。戦争をしない大切さをみんなに伝えていくことが大事だと思った。

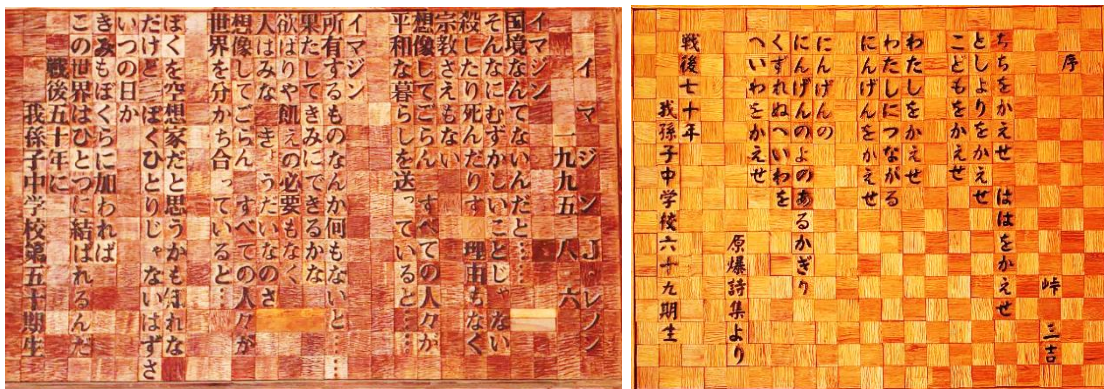
☆今私たちが普通に学校に来れていることがとても幸せなことだなということです。あの時代に生まれていたら、学校で勉強することもできないしお風呂にも毎日入れなかったかもしれないと考えたと今の時代に生まれてきてとても幸せだと感じ、これからも他国と戦争することがない平和な時間を続けたいなと思います。

☆今、生きていらっしゃる高齢の方々はみんなこんな痛い思いをしていたのか～など、きずなどのせいで、うでを切断するなどたくさんの試練を乗り越えてきたのかと思った。でも、少し心の底では一応日本が悪さをしたからアメリカなどにくしゅうを受けるんじゃないかとも思う。でも、このような日本のかこには「火の海 大阪」みたいな悲しい出来事があったということを次の世代の私たちが伝えていこうと思う。

☆戦争とは、みんなの命をうばうから戦争はしてはいけない。今生きてることに感謝する。

～この学校の片隅で～

みなさんが毎日通るピロティーに平和を願った詩があるのを知っていますか？一度じっくり読んでみてください。



【4組】

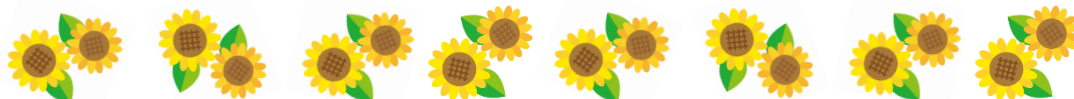
☆6才のときにも関わらずあんな思いをして右うでをなくしても一生懸命生きる主人公はすごいと思った。けど、あきこがあのだうなったのか知リたかった。今後、こんなことをおこさないようにするには、小さなけんかをおこさずもしおきてしまってもそれを大きなことにしない。あと他人の気持ちをちゃんと考える。

☆防空壕に焼夷弾が落ちて火だらけになるシーンを見て必ずしも防空壕が安全ではなかったんだなと思った。どこにもにげ場がなくて、怖い思いをした人の気持ちを考えると胸が痛くなった。過去を変えることはできないけど、戦争について知って「戦争を二度としない」という強い意志を持つことで戦争を防ぐことができると思う。日本が受けた被害だけでなく、日本が外国に加害者としてしたことにも目を向けてきちんと知ることも大切だと思う。

☆さっきまで自分のそばにいた人が燃えていると思ったら、とても恐ろしくなりました。建物が燃えても立てなおせるけど、戦争を体験してできた心の傷はその人に一生残るので、日本だけでなく、世界中で戦争がなくなってほしいと思います。

☆お母さんが最初空を見上げていたのは、焼夷弾がたくさんおちてきていた昔のころとかさねあわせていたんだと思った。地下にある防空壕に、たくさん人が集まりすぎて入れなくなっているところが、命がけて避難してきたのに入れなくなってしまうととても悲しかった。その後に焼夷弾がおちてきて防空壕にいた人が焼かれてしまったとき、安全だと思って避難してきた人たちがとてもかわいそうだなと思った。いつ焼夷弾がおちてくるか分からず、びくびくしながら生きるのはとても苦しいと思った。また戦争がおきそうになったときには、全力で反対したいと思った。

☆戦争は、多くの人の命を奪うおそろしい事です。DVDで見た主人公の女の子の妹が亡くなった時鳥肌が立ち、自分の家族でそれを想像していたらすごい怖いです。人の命がいっぱい亡くなるのは、悲しいどころではすまない、多くの人の命を奪う戦争は、二度としてほしくないです。



本日8月6日の人権平和登校日では太平洋戦争と1945年の8月6日に広島、8月9日に長崎に投下された原子力爆弾について学習し、当時広島で被爆した植野さんのお話を動画配信にて視聴しました。

「戦争を知ろうとする努力を怠らず、なぜ今の世の中があるのかを考えてほしい」という植野さんの言葉にあるように、皆さんも平和のために自分たちにできることを考えていきましょう。

連日酷暑が続きますが、熱中症にも気を付けて元気に始業式登校してください！